

入場
無料

事前
申込



[http://www.takenaka.co.jp/
event/2018/03/01/index.html](http://www.takenaka.co.jp/event/2018/03/01/index.html)

主催／都市・建築からパブリックスペースへシンポジウム実行委員会
後援／横浜市建築局

◆ 基調講演

榎 文彦

建築家
(榎総合計画事務所)

[聞き手]

松隈 洋

京都工芸繊維大学教授

◆ パネルディスカッション

[ファシリテーター]

山家 京子

神奈川大学教授

[パネラー]

内田 青蔵

神奈川大学日本常民文化研究所所長
神奈川大学教授

鈴木 伸治

横浜市立大学教授

藤原 徹平

建築家
横浜国立大学大学院准教授
フジワラテッパイアーキテクツラボ主宰

司会：松隈 章（竹中工務店）

〒231-0005 横浜市中区本町1丁目6番地

横浜市開港記念会館 講堂

[2018]

6.1 18:30~
(金) 20:30

to public space

From city
and architecture

都市
から
建築
へ
パブリック
スペース

2018年、横浜都心部では様々な建築が立ち上がり、街並みも変わろうとしています。今、改めて都市や建築におけるパブリックスペースに焦点を当て、建築文化への関心向上や地域の振興に寄与する事を目的に、シンポジウムを開催します。北仲通南地区に建設中の横浜市新市庁舎のデザイン監修者である榎文彦の基調講演と、パネルディスカッションの2部構成です。基調講演では、聞き手に松隈洋を迎え、ヒルサイドテラスを始め、榎文彦自身の最近作や海外の事例などを交えたパブリックスペースに対する持論を講演頂きます。パネルディスカッションでは、山家京子をファシリテーターに、内田青蔵・鈴木伸治・藤原徹平といった横浜に関係の深い建築関係のパネラーの方々が、横浜の歴史・都市計画・まちづくり・建築などを切口に横浜の魅力とパブリックスペースについて話し合います。参加される皆様が、都市・建築・パブリックスペースに考えを巡らす機会になれば幸いです。

◆基調講演



榎 文彦 建築家（榎総合計画事務所）

1928年東京都生まれ。東京大学工学部建築科卒。ハーバード大学デザイン学部修士修了。後に両学部にて教鞭をとる。

1965年、榎総合計画事務所設立。その代表取締役として今日に至る。

主なる作品：国内ではスパイラル（1985年）、京都国立近代美術館（1986年）、幕張メッセ（1989年）、ヒルサイドテラス（1969年～92年）等があり、海外ではMITメディアラボ（2009年）、4WTC ニューヨーク（2016年）等がある。主たる受賞：日本建築学会賞、毎日芸術賞、朝日賞、プリツカー賞、UIA 及び AIA ゴールドメダル等がある。著書『見えがくれする都市』（共著、鹿島出版会）、『記憶の形象』（筑摩書房）、『漂うモダニズム』（左右社）、『残像のモダニズム』（岩波書店）。日本芸術院会員、文化功労者。

[聞き手]

松隈 洋 京都工芸繊維大学教授

1957年兵庫県生まれ。1980年京都大学工学部建築学科卒業、前川國男建築設計事務所入所。2000年京都工芸繊維大学助教授、2008年同教授、現在に至る。工学博士（東京大学）。専門は近代建築史、建築設計論。

2013年DOCOMOMO Japan代表。著書に『建築の前夜 前川國男論』、『ル・コルビュジエから遠く離れて』、『モダニズム建築紀行』、『坂倉準三とはだれか』など。前川國男、A・レーモンド、坂倉準三、C・ペリアン、白井晟一、丹下健三、村野藤吾、谷口吉郎・谷口吉生、吉村順三、大高正人など、多くの建築展の企画にも携わる。文化庁国立近現代建築資料館運営委員。



◆パネルディスカッション

ファシリテーター

山家 京子
神奈川大学 教授

1959年大阪府生まれ。京都工芸繊維大学工学部卒業、東京大学大学院工学研究科博士課程修了。専門は都市計画、まちづくり。環境未来都市推進委員会委員、横浜市地域まちづくり推進委員会副委員長など歴任。著書に『アジアのまち再生』（彰国社）、『空間学事典【増補改訂版】』（井上書院）など。

パネラー

内田 青蔵
神奈川大学 教授

1953年秋田県生まれ。神奈川大学工学部建築学科 教授、工博。神奈川大学工学部卒業、東京工業大学大学院工学研究科博士課程修了。2009年より現職。専門は、日本近代建築史・日本近代住宅史。日本生活学会会長。著書に『日本の近代住宅』（SD選書 266 鹿島出版会）、『受け継がれる住まい』（共著 柏書房）など。

パネラー

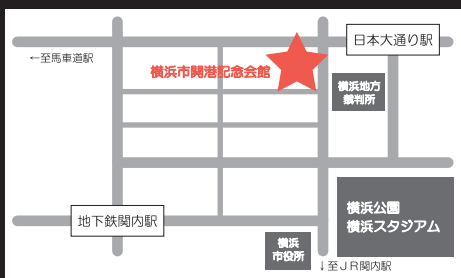
鈴木 伸治
横浜市立大学 教授

1968年大阪府生まれ。京都大学卒業、東京大学大学院修了。関東学院大学、横浜市立大学准教授を経て、2013年より現職。専門は都市デザイン・歴史的環境保全。著書に『都市の遺産とまちづくり アジア大都市の歴史保全』（春風社）『今、田村明を読む』（春風社）『都市の風景計画』（学芸出版社）など。

パネラー

藤原 徹平
建築家

1975年横浜市生まれ。横浜国立大学大学院修了、隈研吾事務所を経て2009年より現職。主な建築作品に『代々木テラス』ほか。現在は、『那須塩原市まちなか交流センター』最優秀（施工中）、『京都市立芸術大学等 移転整備』最優秀（設計中）。『ヨコハマトリエンナーレ』など展覧会の企画にも多く関わる。



〒231-0005 横浜市中区本町1丁目6番地

【開催概要】

日時：2018年6月1日（金）18:30～20:30

会場：横浜市開港記念会館 講堂

定員：先着 280名（定員になり次第締め切らせていただきます）

参加費：無料（webからの事前申込制）

主催：都市・建築からパブリックスペースへシンポジウム実行委員会

後援：横浜市建築局

問合せ先：045-321-1261（竹中工務店横浜支店 シンポジウム担当）

司会

松隈 章 竹中工務店



事前
申込



申込受付 ▶ <http://www.takenaka.co.jp/event/2018/03/01/index.html>